



信州まつもとと空港は 空港がもっと強くなれば、 郷土の未来はその分強くなる 災害時の砦

～空港の持つ強みを活かし災害に備える～

2011年3月の東日本大震災や、2016年4月に発生した熊本地震。それぞれの地震において空港は災害時に命を繋ぐ上での大事な拠点でした。私たちの住む地域にある『信州まつもとと空港』は、今後発生が予想される未曾有の災害時に、どのような位置づけにあり、どのような機能を果たす事ができるのか。その可能性市民の皆様を知っていただきたいと考え、空港内展示スペースにてパネル展示を行います。私たちの地域にある空港の可能性について、ぜひご覧になって下さい。

2016 JCI 一般社団法人 松本青年会議所 認承188

30年以内にマグニチュード7.6程度の地震発生確率 松本市・安曇野市・諏訪市周辺13%～30%



東日本大震災・熊本地震 災害パネル写真展示・空港の可能性、災害時の機能

信州まつもとと空港の未来

無料

MJC版国土強靱化計画第2弾 ～空港編～ 主催：一般社団法人松本青年会議所 郷土の未来発信委員会

2016年 7月24日(土)～31日(土) 信州まつもとと空港 展示スペース 〒390-1132 長野県松本市大字空港東8909番地 TEL 0263-57-8818

2016年 8月 1日(土)～ 7日(土) アイシティ21 〒390-1394 長野県東筑摩郡山形村7977 TEL 0263-98-4521